

中川村保育園、小・中学校のあり方検討委員会報告 その3

中川村の小・中学校のこれからのについて、村民のみなさんからご意見をお聞きするアンケートを実施します。これまでの検討委員会の協議や関係者からのヒアリング結果をまとめ、第6回検討委員会でアンケートの内容について協議しました。村にお住まいの20歳以上のみなさん1,000人にご協力をお願いします。今後アンケート結果をもとに、さらにあり方の方向性を協議して、検討委員会から教育委員会への答申案（諮問内容は広報5月号に掲載）を作成することになります。大変重要なアンケートになりますので、アンケートがお手元に届いたみなさんはぜひご協力をお願いします。

◆関係者ヒアリングの結果

広報8月号で紹介したとおり、検討委員会のほかに、学校職員・保護者（3校PTA）・地域住民（総代会）へのヒアリングを行い、中川村の教育環境の強み・課題・強みを活かす課題を克服する施策アイデアについてご意見を伺いました。結果をまとめたものが表1になります（SCOPまとめ）。この結果も踏まえ、アンケートの内容について第6回検討委員会で協議し、表2の内容（概要）で広く村民のみなさんにご意見を伺うこととしました。

◆アンケートの実施

アンケートは、中川村にお住まいの20歳以上（令和4年10月時点）の、保育園・小中学校などの保護者を含めた1,000人のみなさんにご協力いただいて実施します。10月中旬に発送、11月初旬に回収、その後集計・分析を行って、第7回検討委員会（1月開催予定）でアンケート結果について協議します。そのうえで検討委員会としてあり方の方向性を見定め、検討委員会から教育委員会への答申案を作成する予定です。

大変重要なアンケートになります。お手元に届いたみなさんにはぜひご協力をお願いします。

表1 中川村の教育環境の強み・課題

学校職員、保護者（3校PTA）、地域住民（総代会）へのヒアリングで出された意見をまとめました。

1) 児童生徒の特長

強み 素直でよい子が育つ

課題 主体性・自己肯定感が低い

施策 主体的な学びの強化

2) 学校内の様子

強み 安定した人間関係がある

少人数で丁寧な指導

課題 人間関係が狭く固定化しがち

切磋琢磨しにくい

クラブ・部活動が思うようにできない

施策 縦のつながりによる多様性の確保

小学校のクラス数の確保

他校との交流の強化 ほか

3) 学校と地域とのつながり

強み 地域を教材にする学習がしやすい

保護者・地域が学校によく協力している

課題 強みを活かし切れていない

施策 地域資源を活かした学びの充実

地域と学校の連携体制の強化

4) 学校外の様子

強み 児童・生徒が地域に大切にされている

参加する地域行事がたくさんある

課題 小学生の放課後の選択肢が少ない

少子化で地域行事が継続しづらい

高1ショックがあることも

施策 興味のあることや仲間に出会える場の充実

表2 アンケートの内容（概要）

中川村の小・中学校のあり方について、「方向性1：統合（小中一貫教育）」、「方向性2：維持（2小・1中）」、「その他の方向性」の3つの選択肢から選んでいただくようにしました。

○中川村が目指すべき教育の方向性についてお聞きます。

Q. あなたは「中川村の教育環境の強み・課題」に対応して、どのような施策が重要だと思いますか。

⇒施策の方向性について、項目例のような11項目から、重要だと思う順に3項目を選択

〔項目例〕

A. 興味のあることを自ら見つけ、探究し、発表する学習の充実

B. 友達と話し合う活動の充実 ほか

○中川村が目指すべき教育環境の方向性についてお聞きます。

Q. あなたは、中川村の未来の子どもたちにとって、どちらの方向性の教育が望ましいと思いますか。

⇒教育の方向性について、項目例のような3項目について、どちらの方が望ましいかを選択

〔項目例〕

A. 「（統合し）9年間の一体的カリキュラムが望ましいか

B. （維持し）学校ごとの授業に合同授業を組合せるのが望ましいか」 ほか

Q. あなたは、中川村の未来の子ども達のために、どのような教育環境を整備すべきだと思いますか。

⇒教育環境の方向性について、「方向性1：統合し小中一貫教育を行うがよいか」、「方向性2：現状を維持（2小・1中）していくのがよいか」、「それ以外の方向性がよい（具体的に記入）」のうち1つを選択